



2025年3月期 第1四半期決算説明資料

株式会社フォーラムエンジニアリング
(東証プライム：7088)



- **2025年3月期 第1四半期決算概況について**
- **国内各事業サービスの状況**
- **海外事業サービスの状況**
- **Appendix**

- **2025年3月期 第1四半期決算概況について**
- 国内各事業サービスの状況
- 海外事業サービスの状況
- Appendix

【連結】2025年3月期 第1四半期決算概況

前期に対し、売上高+808百万円（+10.5%）、営業利益+482百万円（+73.2%）
業績予測に対する進捗率も、順調に推移

（単位：百万円）

【通期】	【連結】 2025年3月期 第1四半期実績	通期業績予想に対する進捗率		【連結】 2024年3月期 第1四半期実績	前年同期比較	
		通期業績予想	進捗率		増減額	前期比
売上高	8,528	34,320	24.9%	7,720	+808	+10.5%
営業利益	1,141	3,460	33.0%	658	+482	+73.2%
経常利益	1,160	3,450	33.6%	659	+500	+75.9%
税引前利益	1,160			659	+500	+75.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	774	2,310	33.5%	444	+329	+74.1%

上半期業績予想に対する進捗率は、売上高50.8%、営業利益71.3%と順調に推移

【上半期】	【連結】 2025年3月期 第1四半期実績	上半期業績予想に対する進捗率	
		上半期業績予想	進捗率
売上高	8,528	16,790	50.8%
営業利益	1,141	1,600	71.3%
経常利益	1,160	1,590	73.0%
税引前利益	1,160		
親会社株主に帰属する 当期純利益	774	1,060	73.0%

【各社別】2025年3月期 第1四半期決算概況

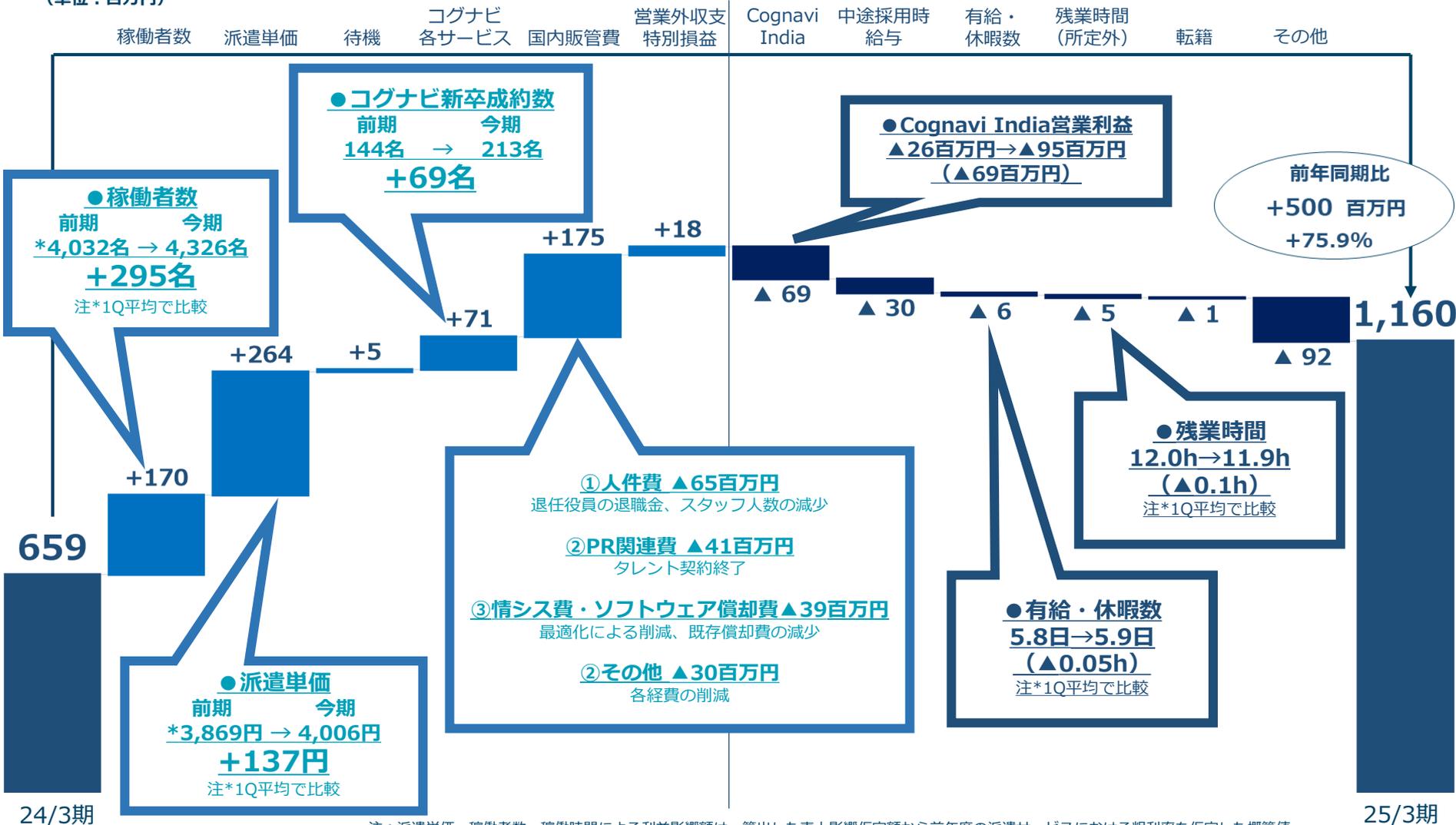
(単位：百万円)		2025年3月期 第1四半期実績	通期業績予想に対する進捗率		2024年3月期 第1四半期実績	【参考】前年同期比較	
			通期業績予想	進捗率		増減額	前期比
フォーラム エンジニアリング	売上高	8,523	34,140	25.0%	7,720	+803	+10.4%
	営業利益	1,242	3,710	33.5%	685	+556	+81.2%
コグナビ インディア	売上高	5	170	3.1%	0	+5	-
	営業利益	▲ 95	▲ 240	-	▲ 26	▲ 69	-
単純合算	売上高	8,528	34,310	24.9%	7,720	+808	+10.5%
	営業利益	1,146	3,470	33.0%	685	+461	+67.3%

注*進捗率、前期比：どちらかがマイナス、もしくは1.000%以上の場合、一表記

注*通期業績予想は百万円以下を切り捨て、0としているため合計値が合わない場合がございます

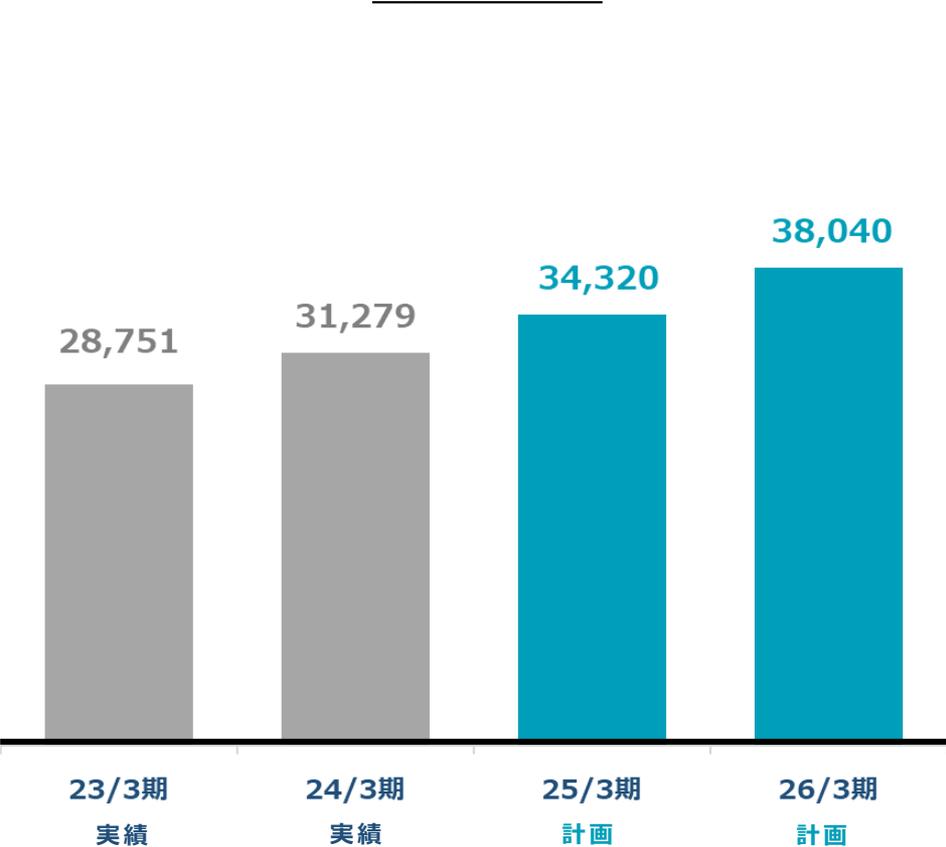
①稼働者数の増加 ②派遣単価の上昇 ③コグナビ新卒の成約増 ④経費の見直し
により、前期に対し、+75.9%

(単位：百万円)

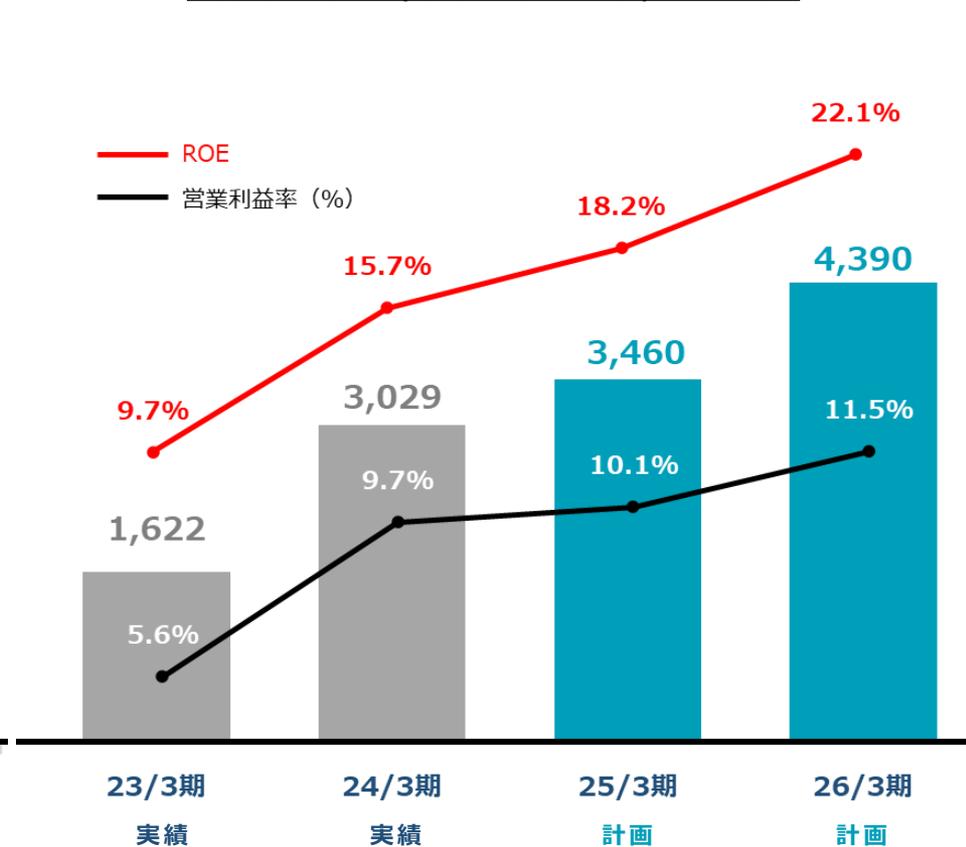


注* 派遣単価、稼働者数、稼働時間による利益影響額は、算出した売上影響仮定額から前年度の派遣サービスにおける粗利率を仮定した概算値
* 各増減額は、百万円未満切り捨て表記
* Cognavi Indiaは、金融収益分を除いた利益差を表示。金融収益は営業外収支/特別損益で表示

【売上高】



【営業利益/営業利益率/ROE】



1株当たり配当予想

2025年3月期

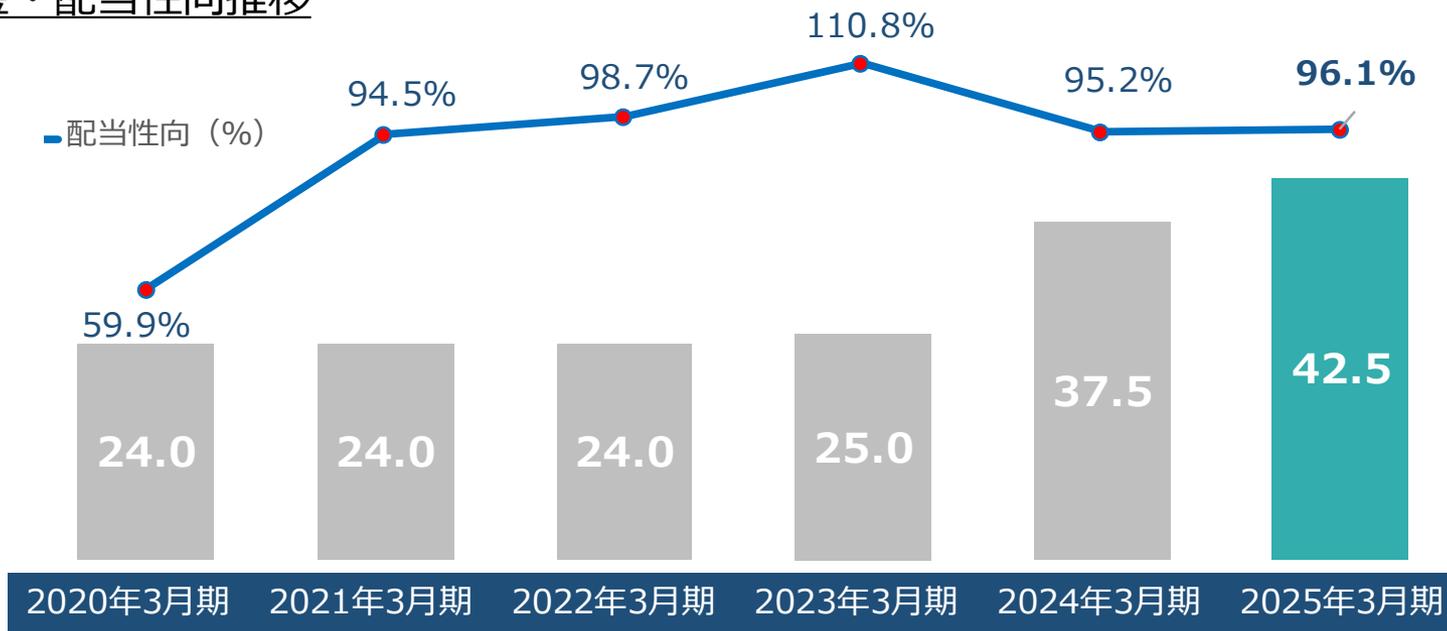
通期

42.5円

○ 中間予想 18.0円

● 期末予想 24.5円

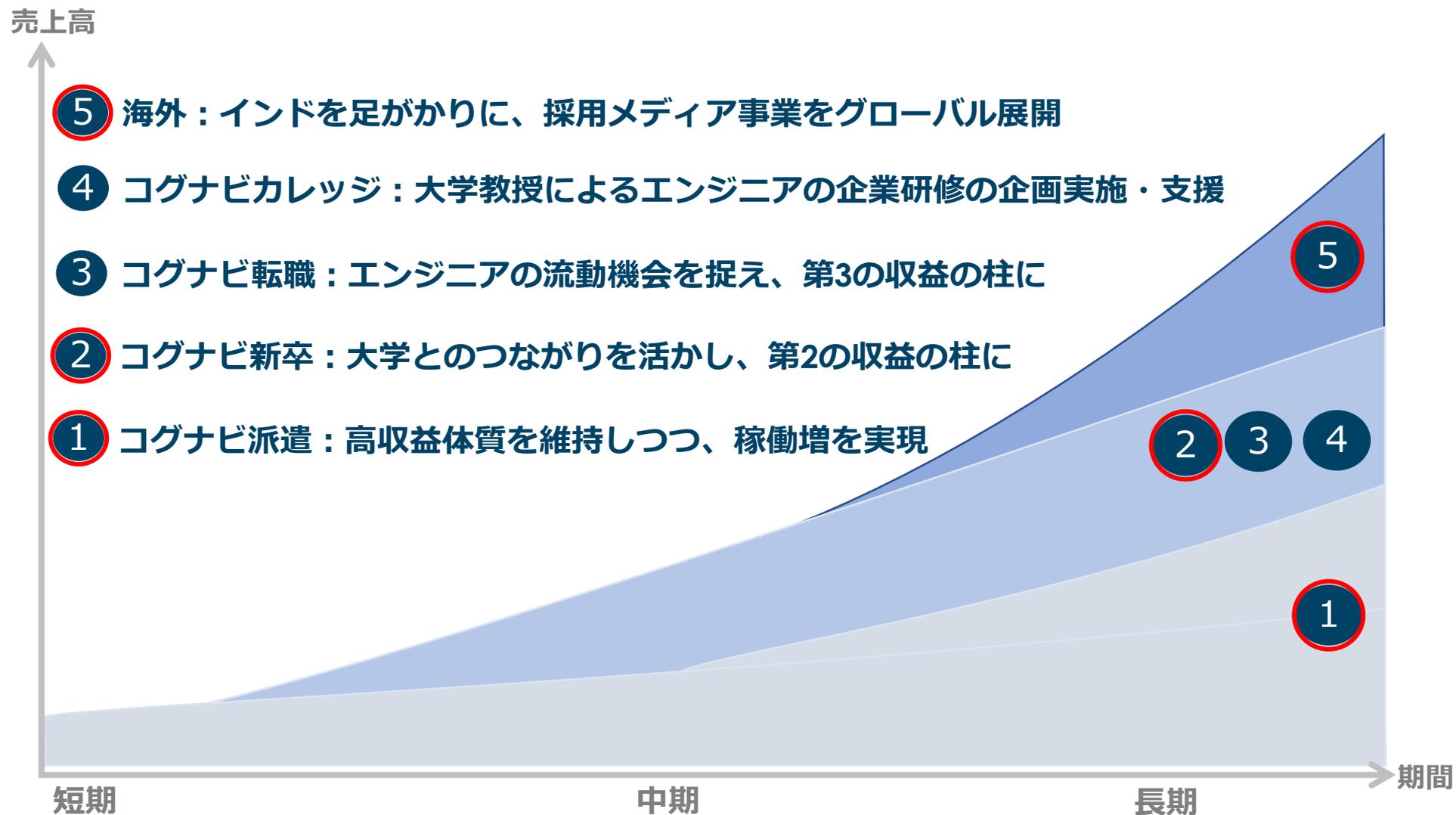
● 配当金・配当性向推移



*2023年12月1日付けで普通株式1株につき2株の分割を行っています

- 2025年3月期 第1四半期決算概況について
- **国内各事業サービスの状況**
- 海外事業サービスの状況
- Appendix

今期も前期と同様に3つの事業に注力



- 国内各事業サービスの状況

コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職 コグナビカレッジ

① 稼働人数

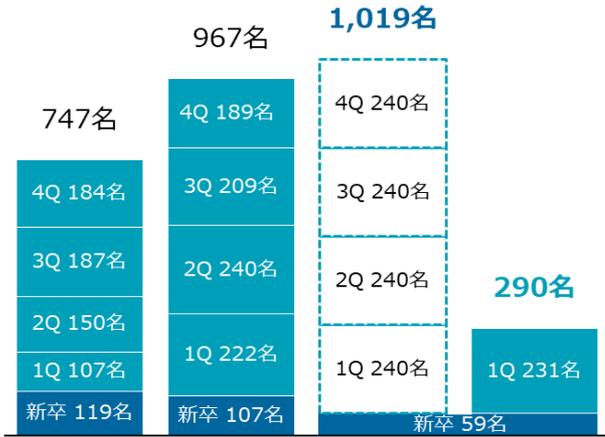
1 Q実績は4,374名、期初から94名増と、計画の4,700名に向けて順調に推移。



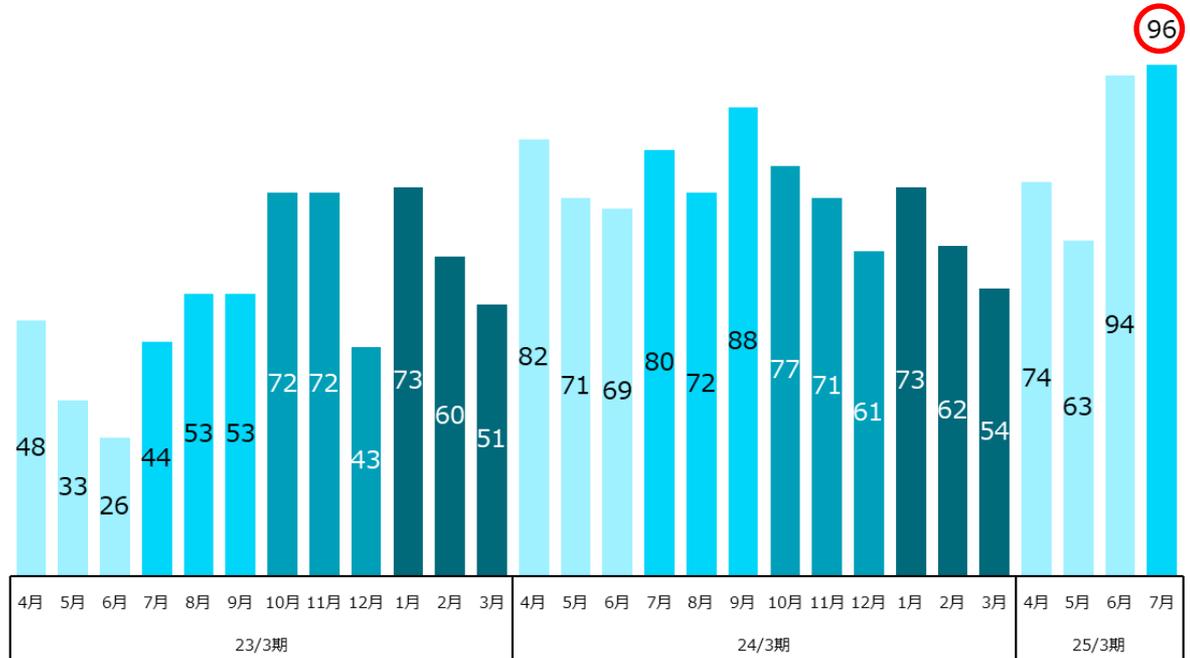
注* 各期における期初時点 (4月始め) の数字

1 Q計画240名に対し、実績231名。6月以降は月平均90名を超え、順調に推移。

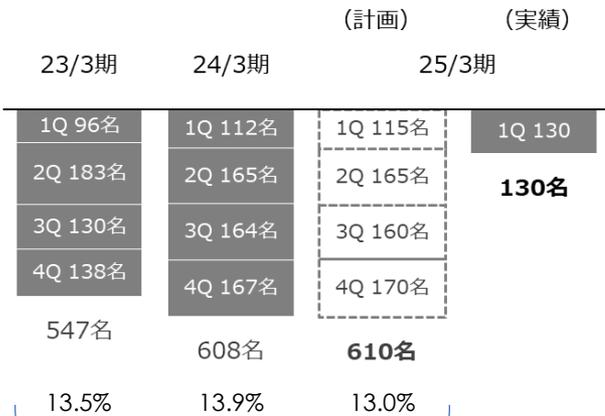
採用数 (期別)



採用数 (四半期別・月別)



退職数 (期別)



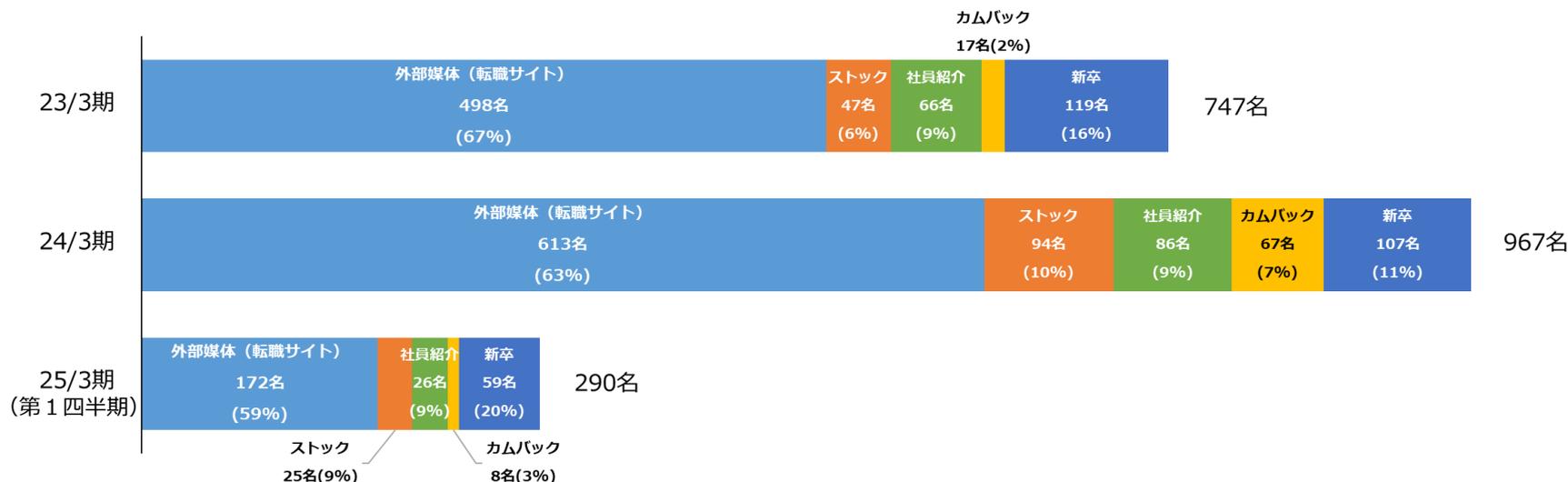
退職率

① エンジニア採用戦略と、募集経路別の内訳

面接時に要望を細かくヒアリングしたうえで、通勤可能範囲内に限定し、保有するスキルと要望に沿った就業先を提案。さらに募集経路別に以下の戦略を遂行する事で、採用は順調に推移。

- ① 外部媒体 … 未経験者採用をやめ、経験者採用のみに注力。
- ② ストック人材 … 過去の辞退応募者（約31,000名）に対し、再応募を促すメールを定期配信。
- ③ 社員紹介制度 … 紹介者（当社社員）に対してメールを定期配信し、協力を要請。
- ④ カムバック採用 … 過去の退職者（約6,500名）に対し、再雇用を促すメールを定期配信。
- ⑤ 新卒採用 … エンジニア職セミナーを通じてつながりのある教授から未内定学生の紹介を受ける。

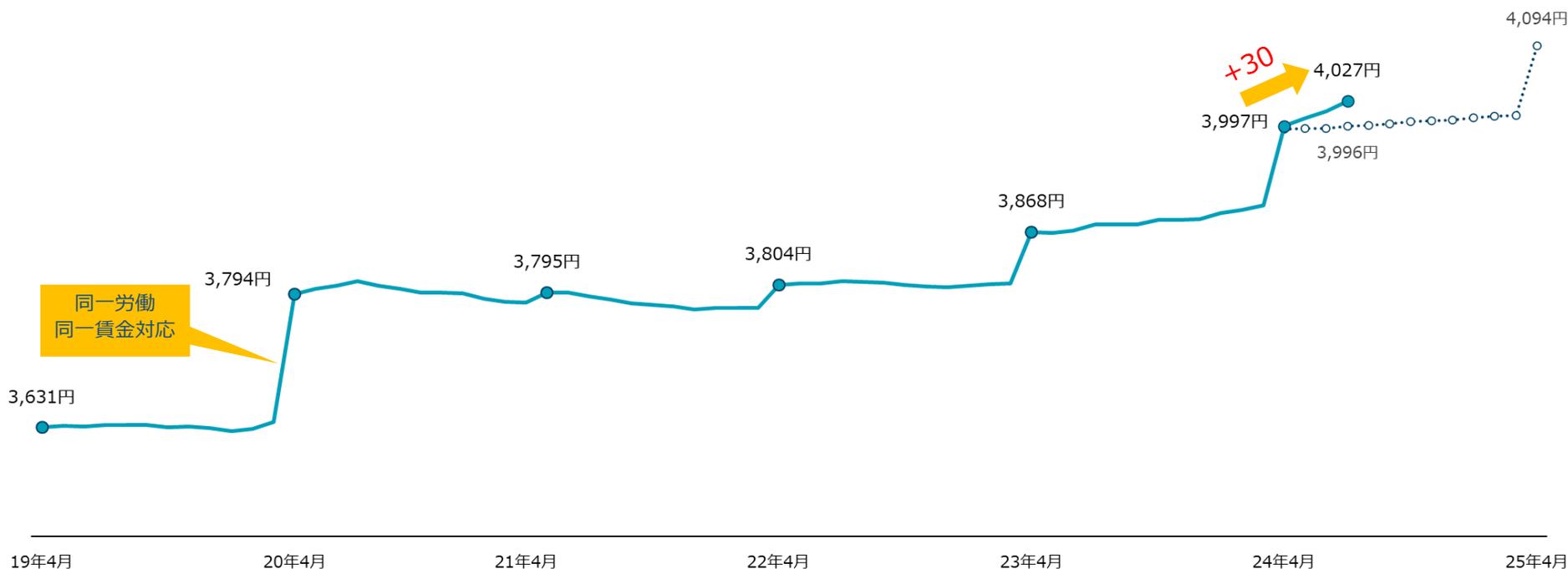
採用数 募集経路別内訳



① 稼働平均単価

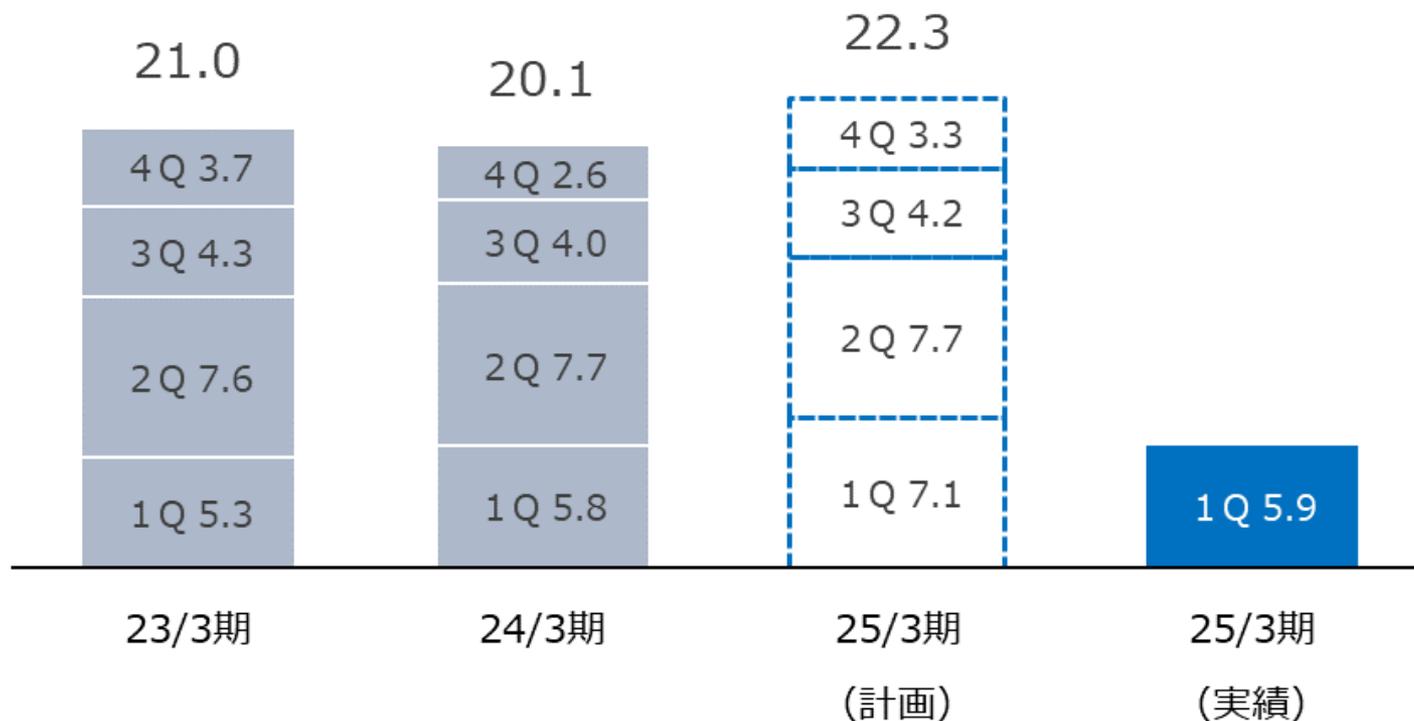
期初から30円アップ。経験者採用への注力とインフレ傾向により、新規契約単価が上昇した事で、稼働平均単価も上昇。

稼働平均単価



付与された日数の100%を消化する前提で1Qは7.1日の計画としたが、実績は5.9日。

有休取得日数

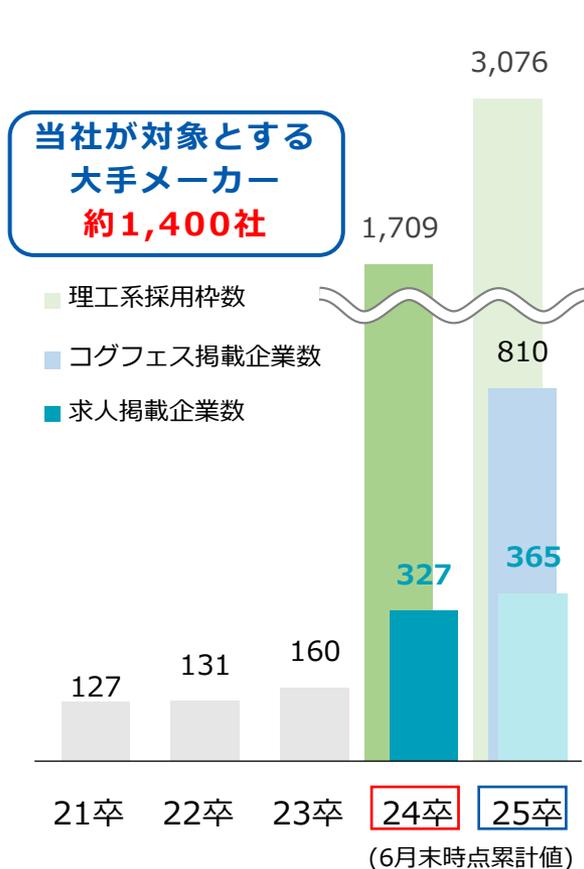


- 国内各事業サービスの状況

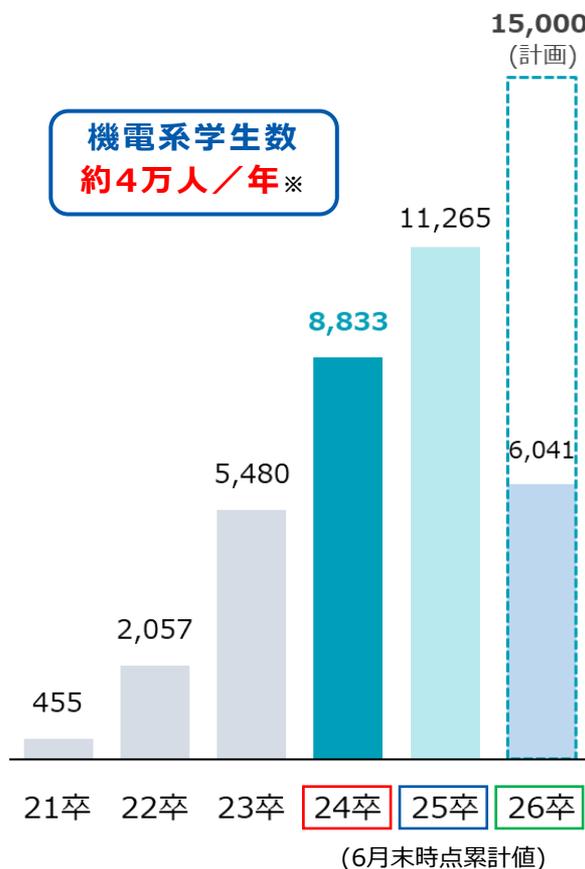
コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職 コグナビカレッジ

2024年卒業 (2024/3月期売上) は計画の250名を上回る、254名の成約。
2025年卒業 (2025/3月期売上) 早期成約分として既に220名が成約。計画の500名を目指す。
2026年卒業 (2026/3月期売上) の学生に対し、「エンジニア職セミナー」による会員登録増を目指す。

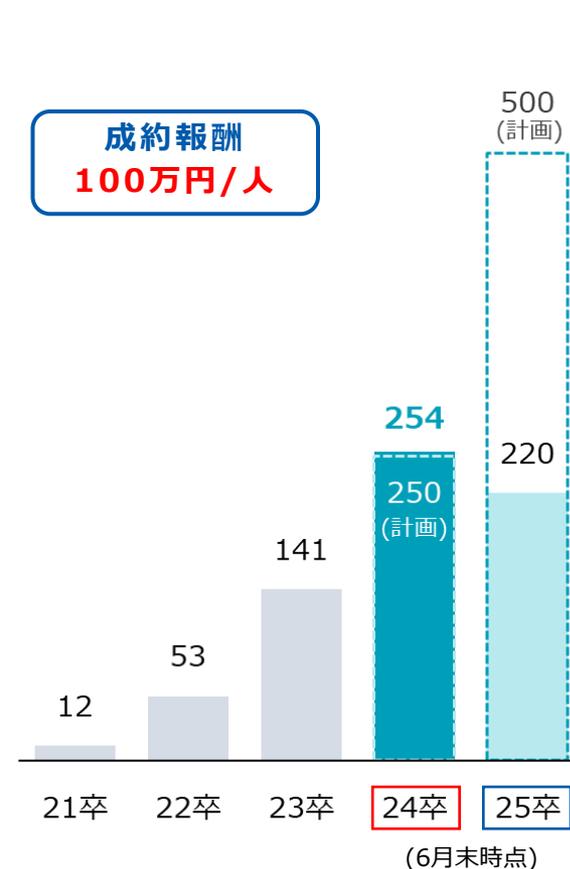
求人掲載企業数



登録会員数



成約数

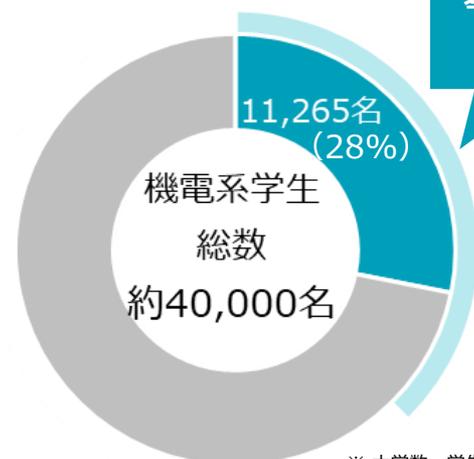
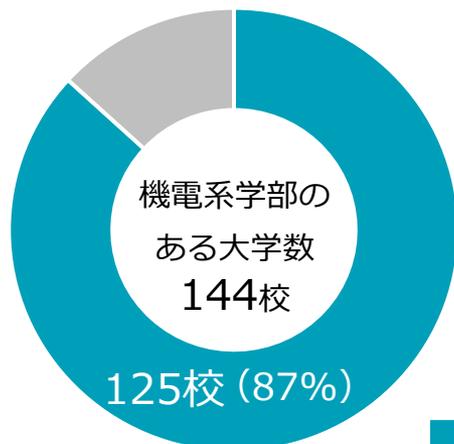


※ 学生数は教育ソリューション (株) 全国学校データ2023より当社推計

元メーカーエンジニアの当社社員を講師とし、2026年卒業（大学3年生）を対象としたセミナー。実施の約8割は「単位取得」可能な授業枠の一環として開催されており、機電系大学における一定の認知と信用を獲得。今後、講師の増員による講義回数の増加によって、会員流入を増やす。

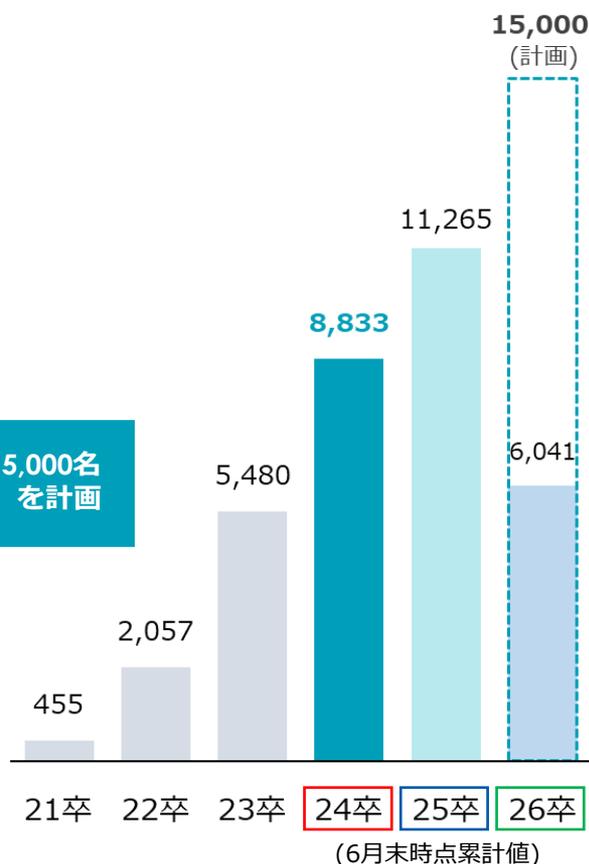
25卒 実施実績

※ 6月末時点における累計数



※ 大学数、学生数は教育ソリューション（株）
全国学校データ2023より当社推計

コグナビ新卒登録会員数



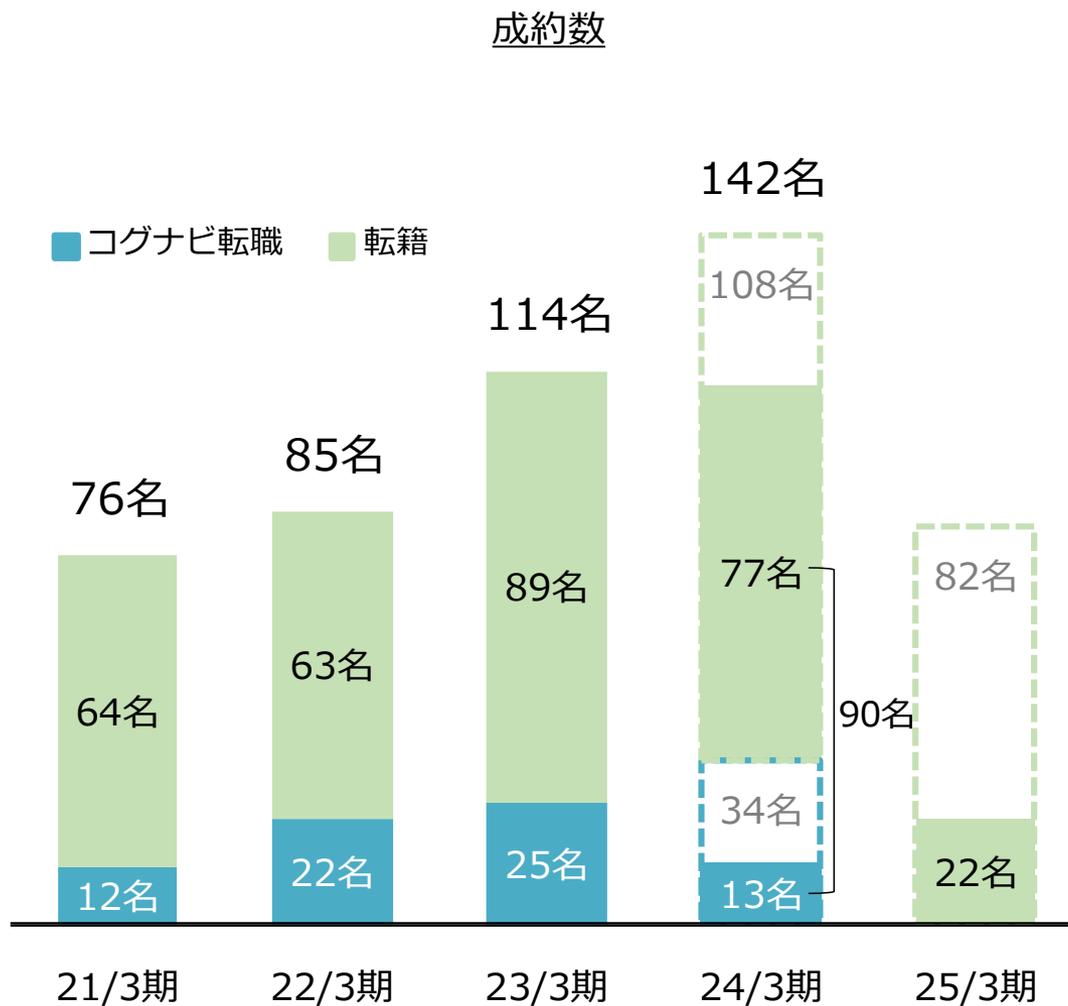
セミナーの様子



大学	中部大学
学部学科	工学部 機械工学科
講義形態	授業枠
セミナー出席人数	159名
コグナビ新卒会員登録数	154名

- **国内各事業サービスの状況**

コグナビ派遣 コグナビ新卒 **コグナビ転職** コグナビカレッジ



- **国内各事業サービスの状況**

コグナビ派遣 コグナビ新卒 コグナビ転職 **コグナビカレッジ**

メーカーのエンジニアに向けたスキルアップ研修を提携大学にて実施。
教授の保有スキルをデータベース化する事で、企業の“リスクリング”需要に沿った
専門性の高い研修を、ピンポイントにマッチング。1Qは62名が受講。

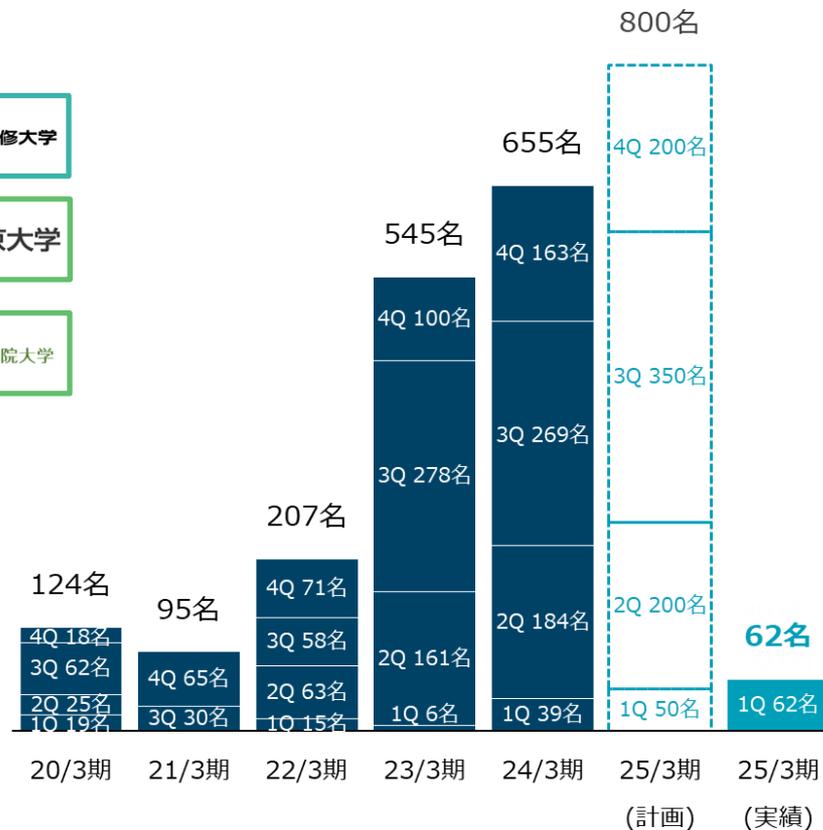
提携大学

注* 2024年3月末時点

受講者数



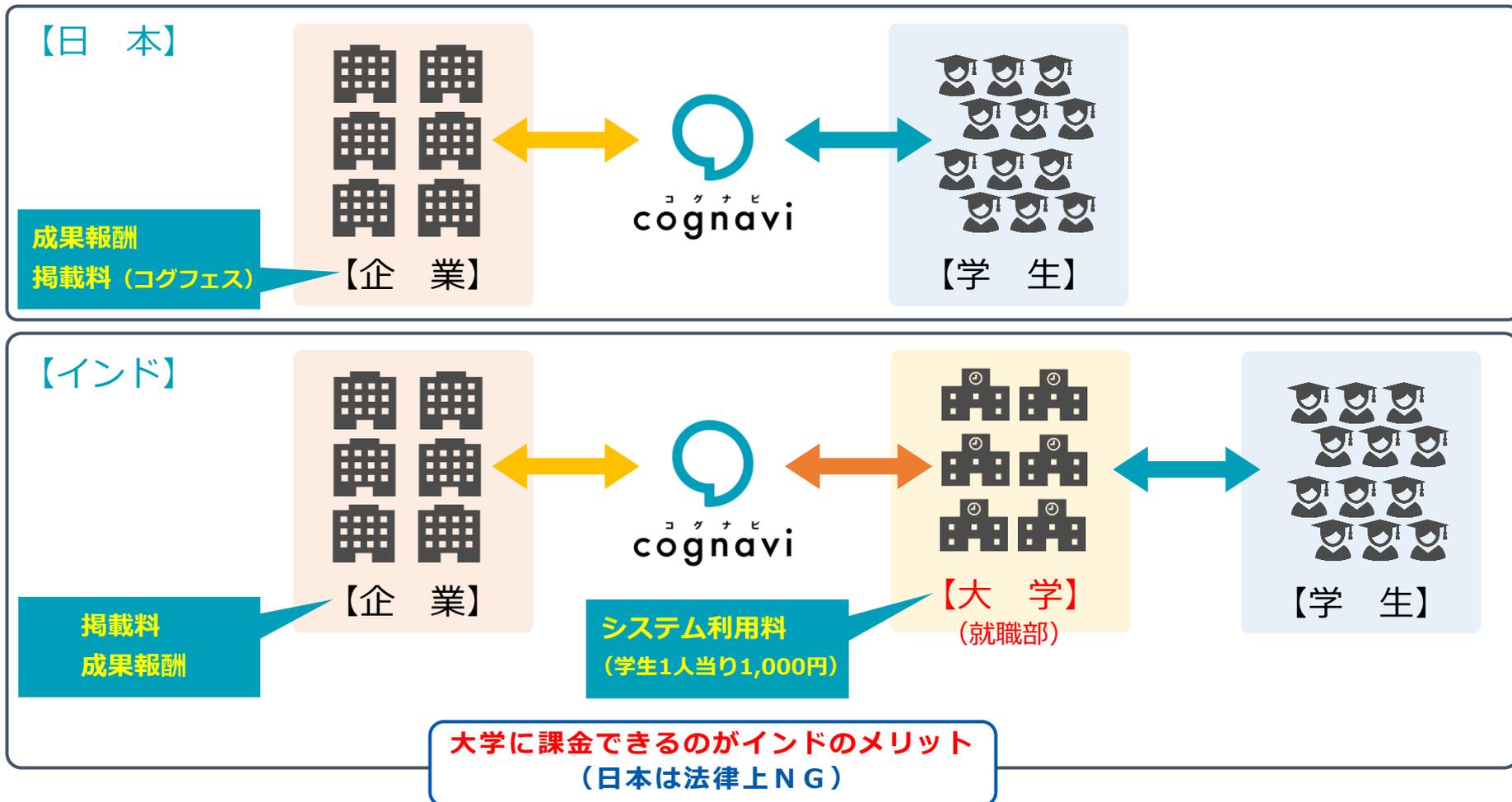
**計11大学と提携
教授数の総計：約800名**



- 2025年3月期 第1四半期決算概況について
- 国内各事業サービスの状況
- **海外事業サービスの状況**
- Appendix

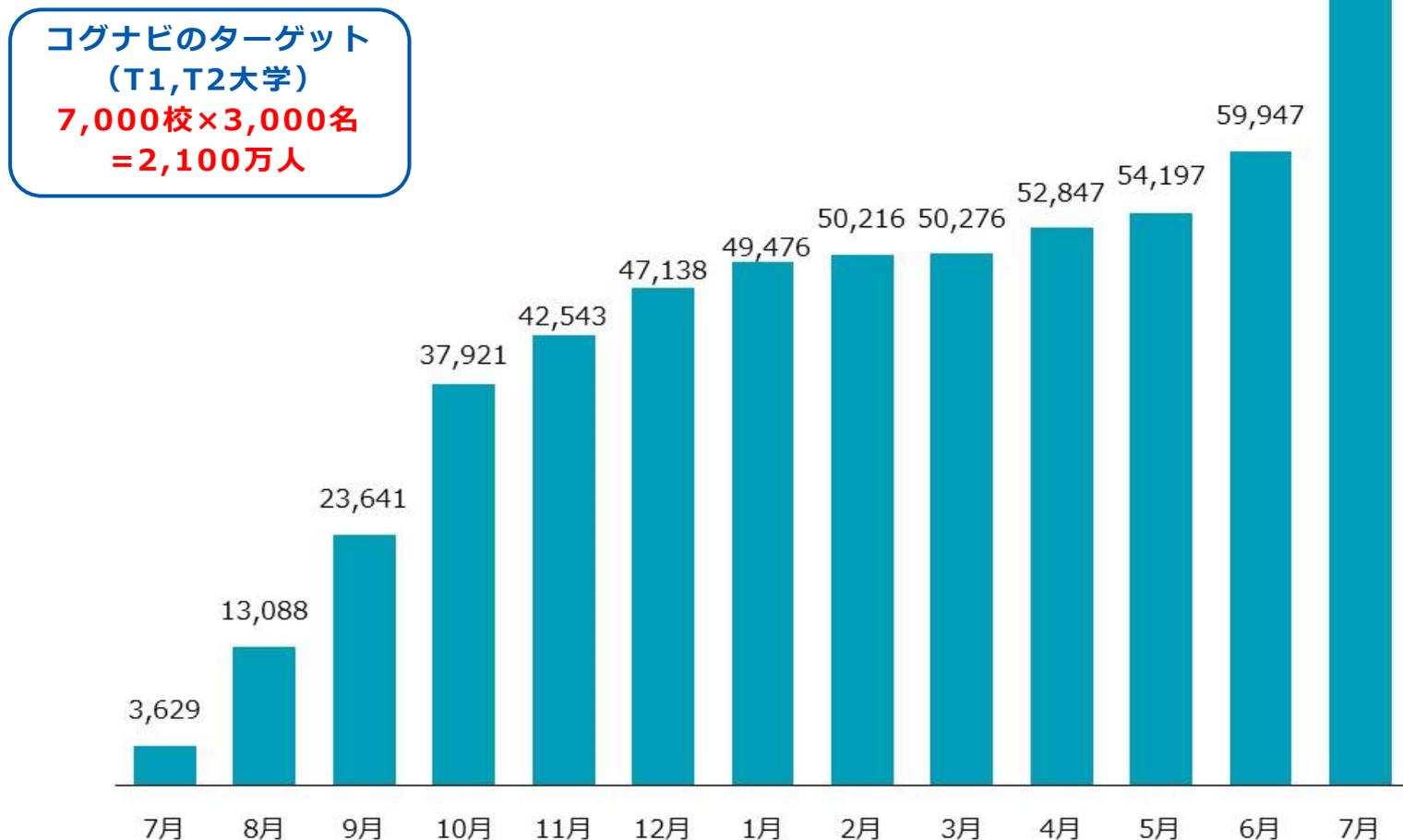
インドの産業を支える人材ビジネスの社会インフラを、「インドの企業」として創る事を目的とし、2023年6月にインド初「新卒専門の就活サイト」をスタート。

課金体系の違い



AIテクノロジーを活用した就活サポートツール「Student Portal」で、学生の保有スキルと就きたい職業に合致した、より関連性の高い就職機会を提供。

登録会員数の推移



⑤契約大学数の推移

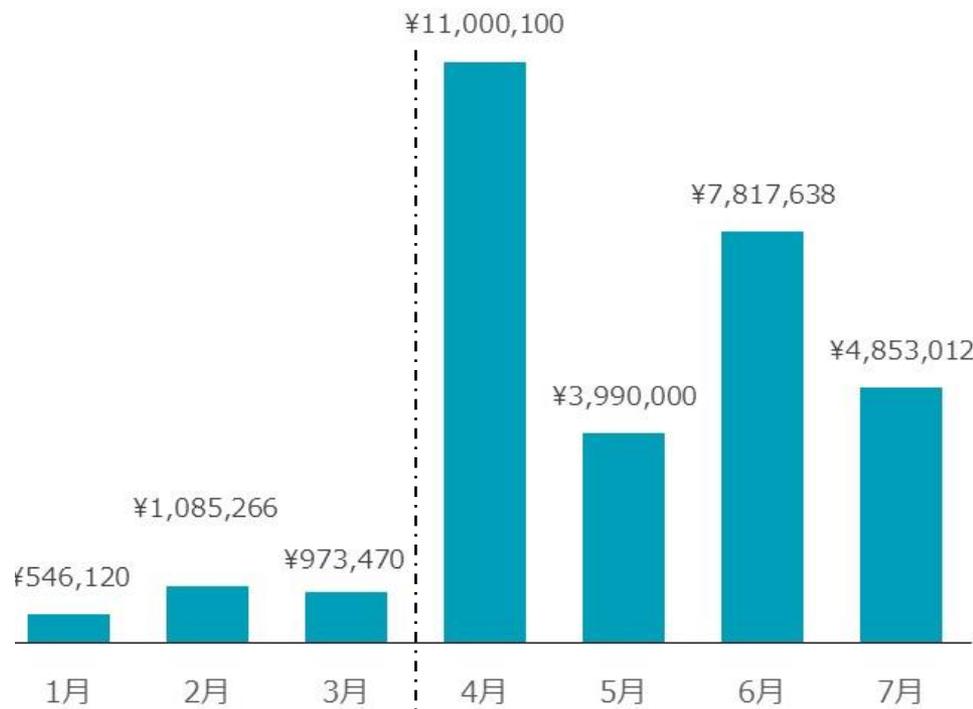
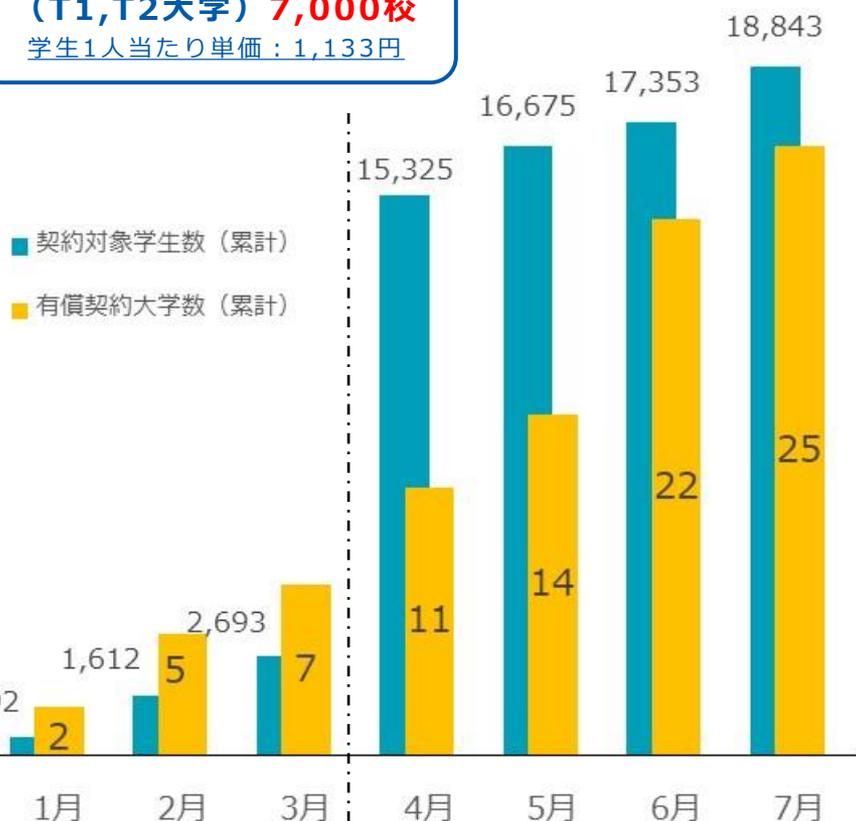
大学の就職部が使う学生／求人管理データベース「University Portal」で、
効率的な求人情報の提供と配置率の向上をサポート。

導入大学数

システム利用料売上

コグナビのターゲット
(T1,T2大学) 7,000校
学生1人当たり単価：1,133円

受注金額累計
¥30,265,606
1大学当たり：¥1,375,709



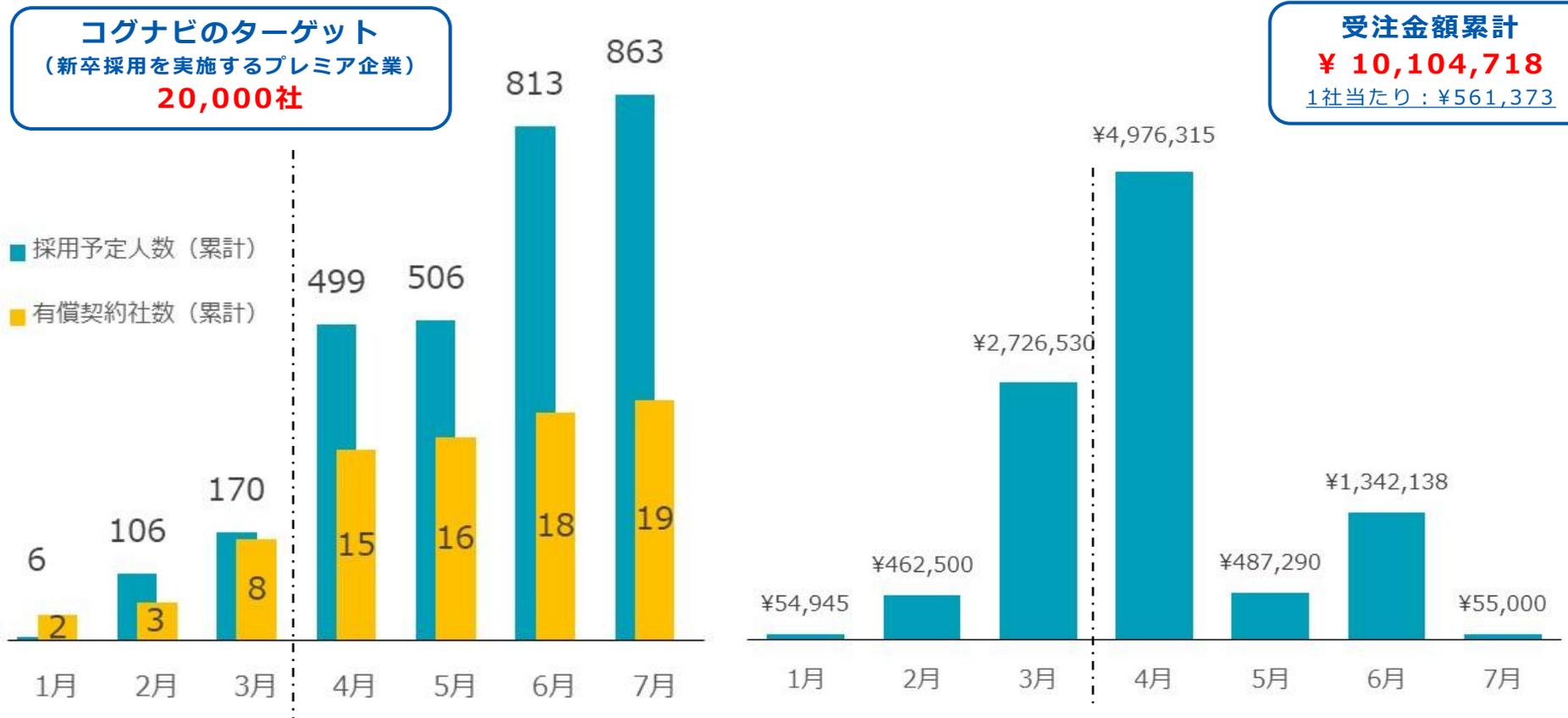
※受注金額。PL上の売上は掲載期間（12か月）で案分。

⑤導入企業数の推移

採用管理システム「Recruiter Portal」で、学生からの大量の応募に対し、求人にもマッチした候補者をAIが選別し、上位からリストアップして表示。採用プロセスの効率化を図る。

導入企業数／採用予定人数

受注金額



※システム利用料型と成果報酬型の合計金額。
 ※現時点の受注内訳はシステム利用料型が20%、成果報酬型が80%。
 ※システム利用型の場合、PL上の売上は掲載期間で案分。
 ※成果報酬型の場合、入社時点で売上が確定するため、未確定分を含む。

- 2025年3月期 第1四半期決算概況について
- 国内各事業サービスの状況
- 海外事業サービスの状況
- **Appendix**

E

- ・ 本社オフィスでの再生エネルギーの積極活用



S

- ・ 機械・電気系学生向け「エンジニア職セミナー」活動を継続
- ・ 大学でエンジニア向け企業研修、リスキリングの企画・実施
- ・ スキルや学びをベースにした独自のAIマッチング技術の活用
- ・ レスキューロボットコンテスト、RoboCupジャパンオープン協賛
- ・ 理工系大学を目指す高校生向けセミナーでの講演
- ・ ノーマライゼーション事業の推進
- ・ インドと日本の大学交流を支援（印日学生の短期学術交流プログラム）



G

- ・ バランスの取れたガバナンス体制の維持
- ・ サイバーセキュリティへの対応



インドと日本の大学交流を支援

～印日学生の短期学術交流プログラム“Discover India”をスタート



「SRM大学 AP校」と提携し、日本の工学系の教授と学生を、当社が費用負担※し、同大学へ招待する企画。滞在中はキャンパス内の宿泊施設で過ごし、授業への参加や現地企業の見学を通じて、教授や学生と交流。（※初回参加のみ。個人的な費用は除く）

→ 今期は6大学、教授10名と学生32名の参加が決定。

参加時期	大学名	参加教授数	参加学生数
8月	東海大学	2名	5名
8月	東京理科大学	2名	4名
9月	千葉工業大学	2名	5名
9月	広島工業大学	1名	3名
10月	崇城大学	1名	5名
3月	慶應義塾大学	2名	10名



SRM大学 AP校 (SRM University, Andhra Pradesh)

1985年創立。インドの私立大学の中では最大の規模（学生52,000名、教員3,200名）かつ学カレベルもトップランクに入る大学グループのひとつ。アーンドラ プラデーシュ州（A P州）をはじめ、チェンナイなどインド国内6都市に計8つのキャンパスがあり、6つの学部（工学・技術、経営、医学・健康科学、科学・人文科学、法律、農学）を有する、総合大学。日本を含む世界各国の企業との共同開発や、大学との交流プログラムなども、積極的におこなっている。

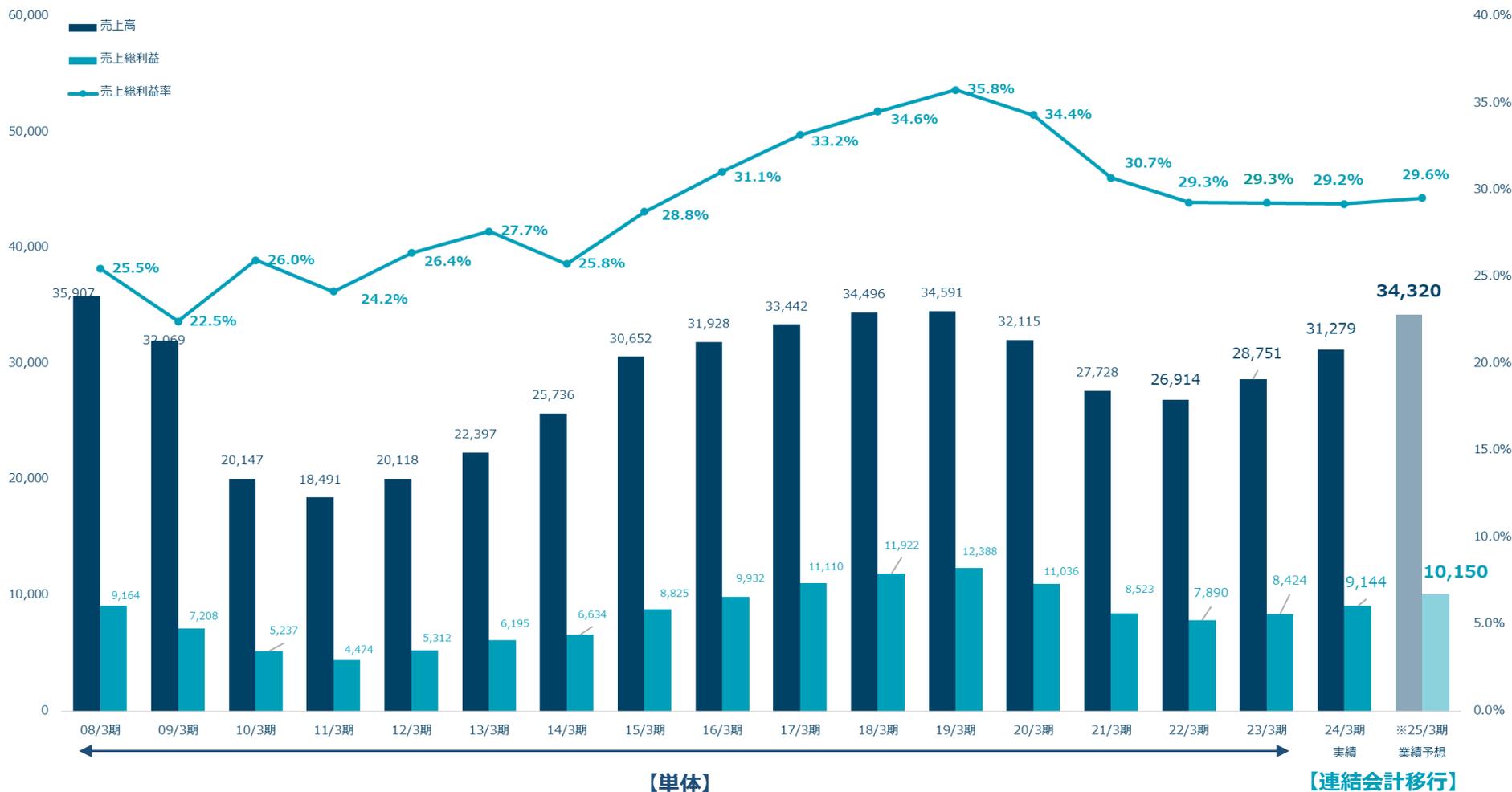


※SRM大学 AP校の最新施設

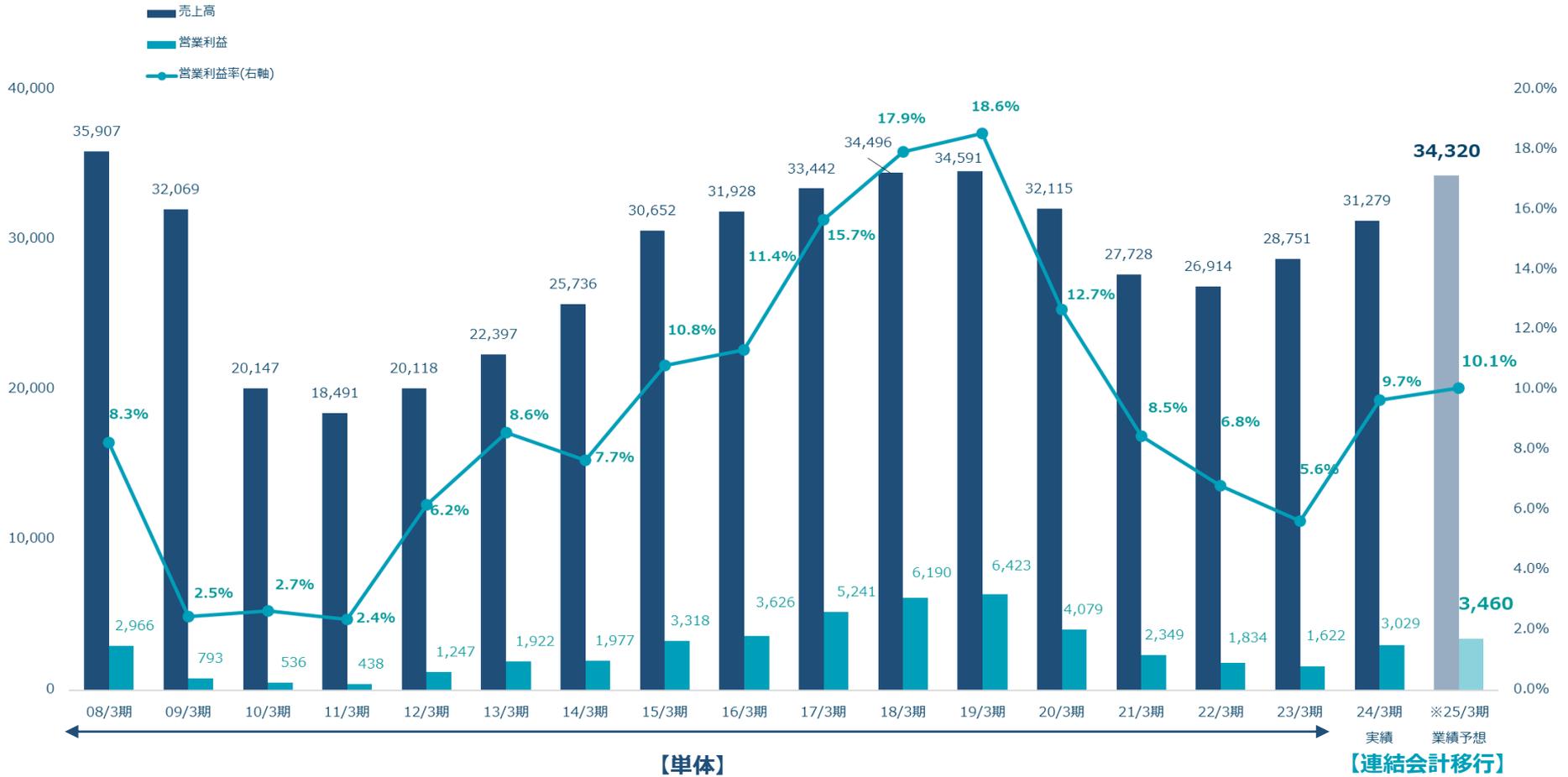
売上高、売上総利益、売上総利益率の推移

売上高・売上総利益・売上総利益率の推移

(単位：百万円)



売上高・営業利益・営業利益率の推移
(単位：百万円)



2024年3月期より連結会計に移行

損益計算書 (百万円)

	実績		
	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 1Q 【連結】
売上高	28,751	31,279	8,528
売上総利益	8,424	9,144	2,711
	29.3%	29.2%	31.8%
販売費及び一般管理費	6,802	6,115	1,570
	23.7%	19.5%	18.4%
営業利益	1,622	3,029	1,141
	5.6%	9.7%	13.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,163	2,039	774
	4.0%	6.5%	9.1%

貸借対照表 (百万円)

		23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 1Q 【連結】			23/3期 【単体】	24/3期 【連結】	25/3期 1Q 【連結】
流動資産	現金及び預金	10,395	11,006	10,531	負債の部	流動負債合計	5,728	4,618	5,465
	流動資産合計	14,492	15,117	14,957		固定負債合計	-	9	88
固定資産	有形固定資産	435	417	496	負債合計	負債合計	5,728	4,628	5,554
	無形固定資産	1,391	1,157	1,086		純資産の部	株主資本合計	11,972	12,921
	投資その他の資産	1,380	1,225	1,231	純資産合計		11,972	13,289	12,217
	固定資産合計	3,207	2,800	2,814	負債純資産合計	17,700	17,918	17,772	
資産合計		17,700	17,918	17,772					

キャッシュフロー計算書 (百万円)

	23/3期 【単体】	24/3期 【連結】
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,515	3,299
減価償却費	336	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594	△1,078
有形及び無形固定資産の取得による支出	△499	△209
フリー・キャッシュ・フロー ¹	921	2,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,215	△2,771
現金及び現金同等物の期首残高	13,690	10,434
現金及び現金同等物の期末残高	10,395	9,904

注*1営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

〈KPI項目〉		23/3期					24/3期					25/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
コグナビ派遣	・ 案件数 (件)	2,135	2,122	2,490	2,460	9,207	2,572	3,410	2,872	2,519	11,373	2,534				
	・ 中途採用数 (名)	107	150	187	184	628	222	240	209	189	860	231				
	・ 新卒採用数 (名)	119	—	—	—	—	107	—	—	—	—	59	—	—	—	—
	・ 退職数 (名)	96	183	130	138	547	112	165	164	167	608	130				
	・ 退職率 (%)	—	—	—	—	13.5	—	—	—	—	13.9	—				
	・ 在籍技術者数 (名)	3,904	3,914	3,964	4,019	—	4,190	4,284	4,336	4,340	—	4,470				
	・ 稼働者数 (名)	3,834	3,857	3,913	3,927	—	4,046	4,137	4,229	4,224	—	4,337				
	・ 稼働率 (%)	97.9	98.5	98.5	98.2	98.3	96.5	96.5	97.2	97.4	96.9	97.2				
	・ 稼働時間 (時間)	157.7	154.3	160.6	156.7	—	157.6	153.1	163.6	153.7	—	157.9				
	・ 派遣単価 (円)	3,807	3,806	3,802	3,826	—	3,872	3,879	3,886	3,931	—	4,016				

注 * 在籍技術者数、稼働者数は、四半期末日時点の人数。稼働率は該当四半期の3か月の月末時点の人数の総和で、稼働時間は該当四半期の3か月の月稼働時間の平均で計算

* 派遣単価は、各四半期末時点の契約単価の平均値

* エンジニア派遣サービスに関する各KPIについては、退職者を除く正社員の在籍技術者を対象とした集計値

〈KPI項目〉			23/3期				24/3期				25/3期			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コグナビ新卒	24卒	・ 求人掲載企業数 (社)	25	115	186	263	311	325	327	327	—	—	—	—
		・ 登録会員数 (名)	3,934	4,754	7,977	8,537	8,669	8,726	8,808	8,833	—	—	—	—
		・ 成約数 (名)	—	—	—	14	144	240	259	254	—	—	—	—
	25卒	・ 求人掲載企業数 (社)	—	—	—	—	—	197	326	344	365			
		・ 登録会員数 (名)	—	—	—	—	4,973	6,296	10,587	11,154	11,265			
		・ 成約数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	18	220			
	26卒	・ 求人掲載企業数 (社)	—	—	—	—	—	—	—	—	77			
		・ 登録会員数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	—	6,041			
		・ 成約数 (名)	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

注 * 求人掲載企業数、登録会員数、成約数は全て累計数字

本資料には当社の現在の見通し、予想、目標、計画等を含む将来に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、将来に関する記述であることを示すためにすべてではありませんが、「信じる」、「予期する」、「計画する」、「戦略をもつ」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性がある」というような表現を、あるいは将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他「類似した表現」を用いています。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績その他の結果は、将来予想に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。従って、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更又は訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料は、当社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、当社及び当社の普通株式に関する全ての情報を含むものではありません。当社の普通株式への投資判断は、当社が開示している資料をご覧ください。そこに含まれる全ての情報を検討した上で行ってください。

本資料に掲載されている情報は、日本語で作られています。英語翻訳による情報は、海外の投資家の便宜を図る目的から提供しているものです。日本語と英語での解釈に相違がある場合、日本語が優先します。



株式会社 フォーラムエンジニアリング

お問い合わせ先

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・IR部

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー15階

メール：ir@forumeng.co.jp